



「桜散る これが最後ね 離任式」。離任式を臨時休業で開けませんでした。生徒会執行部や先生たちは去っていった先生たちの「半中での最後の日」を一生懸命準備したのに。本校ホームページ内の「デイリー半中」でも紹介したとおり職員向けに離任の挨拶をいたしました。一日も早い学校再開を願っています。そのための準備を毎日進めています。

お世話になりました、会えなかったけれど

16名の先生方が、半田中を去られました。



生徒会執行部は、分担して「新任式・入学始業式・離任式における生徒代表の言葉」を一生懸命、用意してくれました。以下が「離任式の生徒代表の言葉」です。お蔵入りしてしまうのはあまりに惜しいので紹介します。

『半田中学校を離任される先生方、本当にありがとうございました。先生方は常に優しく、しかし、ときには厳しく指導してくださいました。先生方との思い出で特に印象深かったことは、昨年度の双鳩祭の準備です。皆で協力して泥だらけになりながら校庭の水抜きをしたあの日。生徒と先生の思いがひとつになった感覚は私たちにとってかけがえのない宝物です。

他にも、毎日の授業で、面白い覚え方で分かりやすく教えてくださったこと。部活動や行事では、最終下校時刻まで熱心に指導していただき、そのおかげでみんなが存分に力を発揮できたこと。怪我をしたときや、心がくじけたとき、優しくケアしてくださったこと……。先生方から学んだ様々なことは、大切な経験として私たちの中に刻まれています。そんな先生方ともう会えなくなってしまうのはとても悲しいですが、私たちは先生方から教わったことを糧にして、勉強や部活動に全力で励み、立派な半中生になれるよう日々努力していきます。最後になりましたが、私たち生徒一同は、先生方のご健康とご活躍を心から願っています。今まで私たちの成長を温かく見守ってくださり、本当にありがとうございました。

生徒代表』

小さな勇気をこそ

東井義雄

人生の大嵐がやってきたとき、それがへっちゃらで乗りこえられるような
大きい勇気もほしいにはほしいが、
わたしは小さい勇気こそほしい。

わたしの大切な仕事をあとまわしにさせ、忘れさせようとする小さい悪魔が
テレビのドラマやマンガに化けて わたしを誘惑するとき、
すぐそれをやっつけられるくらいの
小さな勇気でいいから わたしはそれがほしい。

もう五分くらい寝ていたっていいじゃないか、今朝は寒いんだよと、
あたたかい寝床の中にひそみこんで
わたしにささやきかける小さい悪魔を
すぐやっつけてしまえるくらいの
小さい勇気こそほしい

明日があるじゃないか、明日やればいいではないか、今夜はもう寝ろよと、
机の下からささやきかける小さい悪魔を
すぐやっつけてしまえるくらいの
小さい勇気こそほしい

紙くずが落ちているのを見つけたときには、
気がつかなかったというふりをして、さっさといっちなまえよ。
かぜひきの鼻紙かもしれないよ、不潔じゃないかと呼びかける小さい悪魔を
すぐやっつけてしまえるくらいの
小さい勇気こそ わたしはほしい。

どんな苦難も乗り切れる大きい勇気もほしいにはほしいが、
毎日 小出しにして使える 小さい勇気でいいから
それが わたしには たくさんほしい。
それに そういう小さい勇気を軽蔑しては
いざというときの大きい勇気もつかめないのではないだろうか。

おうちにいても心は鍛えられます。姿見えなくとも、いつも応援していますよ。